

| 今月の経済動向 (2019年8月)

● 月例経済報告 (8/30)

<p>基調判断</p>	<p>(8月) 景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復している。当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響に注意するとともに、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p> <p>(7月) 景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復している。当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響に注意するとともに、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p>
<p>個人消費</p>	<p>(8月) 持ち直している。</p> <div data-bbox="694 470 1364 862"> <p>(2011年=100) 消費総合指数と実質総雇用者所得</p> </div> <p>(7月) 持ち直している。</p>
<p>設備投資</p>	<p>(8月) このところ機械投資に弱さもみられるが、緩やかな増加傾向にある。</p> <div data-bbox="694 880 1364 1272"> <p>(2000年=100) 製造業・非製造業の設備投資 (実質)</p> </div> <p>(7月) このところ機械投資に弱さもみられるが、緩やかな増加傾向にある。</p>
<p>住宅建設</p>	<p>(8月) おおむね横ばいとなっている。</p> <div data-bbox="694 1290 1364 1682"> <p>住宅着工戸数 (季節調整値)</p> <p>(年率: 万戸)</p> </div> <p>(7月) おおむね横ばいとなっている。</p>
<p>雇用情勢</p>	<p>(8月) 着実に改善している。</p> <div data-bbox="694 1700 1364 2089"> <p>雇用者数、就業者数の推移 (万人)</p> </div> <p>(7月) 着実に改善している。</p>

<p>生産</p>	<p>(8月) このところ横ばいとなっているものの、一部に弱さが続いている。</p> <p>(7月) このところ横ばいとなっているものの、一部に弱さが続いている。</p>																									
<p>輸出</p>	<p>(8月) 弱含んでいる。</p> <p>(7月) 弱含んでいる。</p>	<table border="1" data-bbox="1236 638 1348 862"> <tr><td>EU</td><td>7月</td><td>+4.1%</td></tr> <tr><td></td><td>3MA</td><td>+0.1%</td></tr> <tr><td>アメリカ</td><td>7月</td><td>▲0.2%</td></tr> <tr><td></td><td>3MA</td><td>▲1.6%</td></tr> <tr><td>アジア</td><td>7月</td><td>▲3.3%</td></tr> <tr><td></td><td>3MA</td><td>+1.3%</td></tr> <tr><td>全体</td><td>7月</td><td>+1.4%</td></tr> <tr><td></td><td>3MA</td><td>▲0.3%</td></tr> </table>	EU	7月	+4.1%		3MA	+0.1%	アメリカ	7月	▲0.2%		3MA	▲1.6%	アジア	7月	▲3.3%		3MA	+1.3%	全体	7月	+1.4%		3MA	▲0.3%
EU	7月	+4.1%																								
	3MA	+0.1%																								
アメリカ	7月	▲0.2%																								
	3MA	▲1.6%																								
アジア	7月	▲3.3%																								
	3MA	+1.3%																								
全体	7月	+1.4%																								
	3MA	▲0.3%																								
<p>国内企業物価</p>	<p>(8月) このところ緩やかに下落している。</p> <p>(7月) このところ緩やかに下落している。</p>																									
<p>消費者物価</p>	<p>(8月) このところ緩やかに上昇している。</p> <p>(7月) このところ緩やかに上昇している。</p>																									
<p>海外経済</p>	<p>(8月) 世界の景気は、全体としては緩やかに回復しているが、アジアやヨーロッパの中に弱い動きがみられる。先行きについては、全体としては緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る緊張の増大、中国経済の先行き、金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある。</p> <p>(7月) 世界の景気は、アジア及びヨーロッパの中では弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。先行きについては、全体としては緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向、中国経済の先行き、政策に関する不確実性、金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある。</p>																									

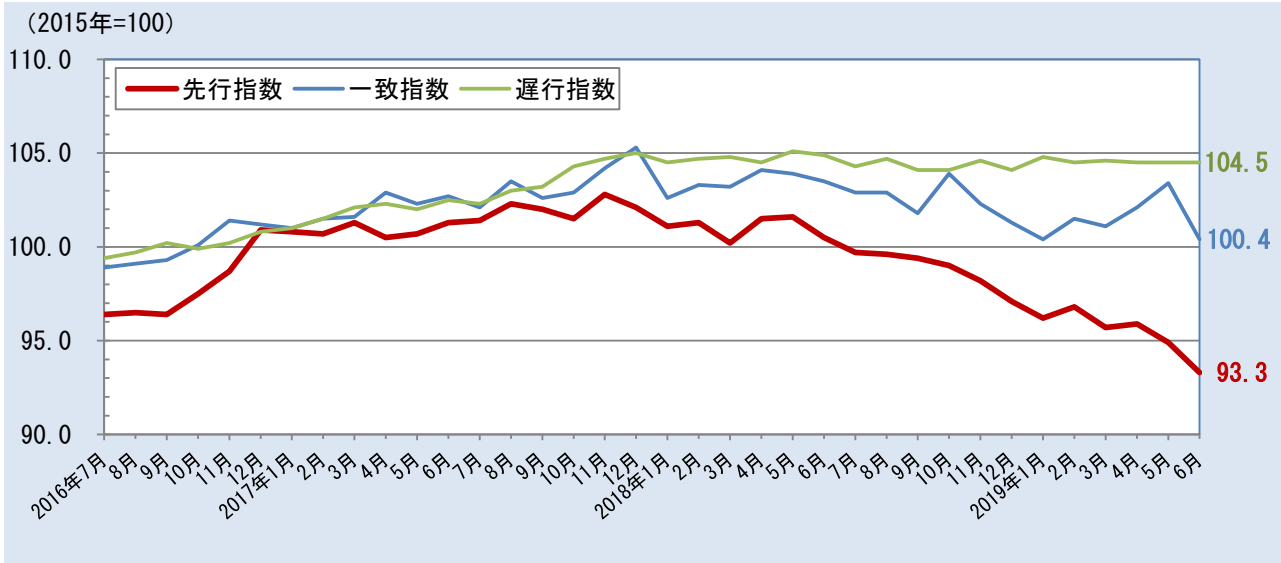
[月例経済報告：内閣府](#)

● 景気動向指数（2019年6月・改訂値）

2019年6月のCI一致指数（改訂値）は前月より3.0ポイント低い100.4ポイントとなり、3か月ぶりの下降となった。3か月後方移動平均は前月より0.23ポイント低い102.0ポイントとなり、3か月ぶりの下降となった。7か月後方移動平均は前月より0.27ポイント低い101.5ポイントとなり、2か月連続の下降となった。

CI先行指数は前月より1.6ポイント低い93.3ポイント、運行指数は前月と変わらず104.5ポイントとなった。

景気の基調判断（CI一致指数）は、「下げ止まりを示している」に据え置いた。



[景気動向指数：内閣府](#)